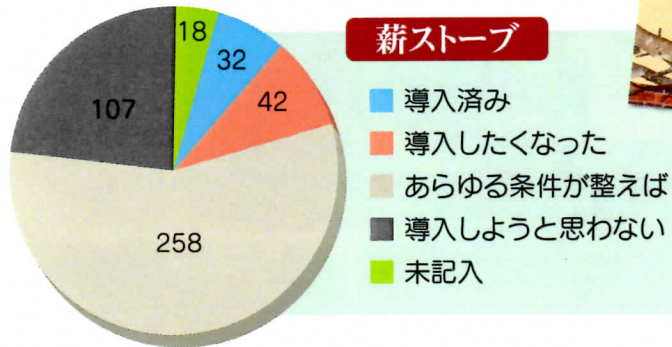


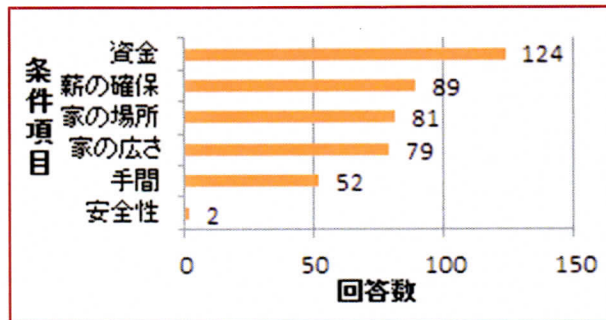
# 木質バイオマス利活用PR冊子「とっとりびと」アンケート結果報告

今年度の鳥取センターの基盤事業として木質バイオマス利活用促進によるCO<sub>2</sub>削減量の算出を行ないました。下記に、アンケートの集計結果および普及啓発の効果を紹介します。アンケートへのご協力、大変ありがとうございました。

## ＜アンケート集計結果＞



## 導入条件について



「条件が整えば導入したい」人が、第1条件として考えているのは「資金」であることが分かりました。第2に「薪の確保」が挙げられていることや、「手間」と回答する人が少ないことから、補助金制度や薪の供給ルート充実などの取り組みにより、薪ストーブの利活用促進を迅速に図ることができるかと推測されます。

「家の場所」や「家の広さ」を課題として挙げる人もいますが、集合住宅やマンションなどでない限り、導入を検討する価値があることを知らせるべきであり、制度の情報と共に、薪ストーブ施工事業者情報の充実も、普及に弾みをつけるものと推測されます。

## PR冊子が下記の4つの情報を広く知らせる機会に

質問事項(当てはまるものに☑を)	回答数
①薪ストーブユーザーが増えてきていることを初めて知った	140
②ペレットストーブについて初めて知った	81
③ペレット燃料が灯油よりも安価になっていることを初めて知った	170
④県市町村の薪ストーブ等木質バイオマス利用設備補助金について初めて知った	182

④「県市町村の薪ストーブ等木質バイオマス利用設備補助金について」の項目は、木質バイオマス活用設備のイニシャルコスト軽減に重要な側面であることから、「あらゆる条件が整えば導入したい」方たちの導入へ向けた支援となりました。

今後、補助金や薪供給の広報に力を入れていくことで、「あらゆる条件が整えば導入したい」と回答した258人(56.4%)と同じような意見を持つ県民の薪ストーブやペレットストーブ等木質バイオマス設備導入行動に繋がると推測されます。

皆様アンケートへのご協力ありがとうございました。冊子送付をご依頼の方は、センターへご一報ください。

### 活動報告

- 1月5日 暮らしの経済法律講座
- 1月20日 省エネ診断(コンソ会議)
- 1月24日 鳥取市地産地消フェア
- 1月30日 アドバイザー派遣研修

- 2月1日 市民発電フォーラム
- 2月7日、8日 エコサボ養成講座
- 2月11日 アドバイザー研修
- 2月13日、14日 低炭素杯2015
- 2月19日 連絡調整会議

- 2月21日 殿ダム雪祭り
- 2月22日 里山活用フォーラム
- 2月24日 低炭素交流会

### 活動予定

- 4月26日 新割りイベント(三朝)